

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課	
小田原ブランド推進事業 (小田原スイーツ等含む)	小田原の持つ自然、歴史、文化から生み出される特産品等の魅力を地域の振興に活用するため、「小田原ブランド」の名のもと一堂に会し、「小田原ブランド」の確立を進める。		小田原ブランド推進事業	魅力PR、小田原スイーツ等	産業政策課
		4月23日	小田原セレクション2016最終選考会		
		6月～9月		PR:参加団体等への説明、イベント実行委員会の立ち上げ PR:イベント開催に向けた調整。随時、実行委員会の開催	
		7月～8月	Haruneギャラリーセレクション展示		
		11月	物産展(八王子いちょうまつり)での地場商品PR	PR:魅力PRイベント開催(ハルネ小田原ほか)	
		12月	2017セレクション募集開始		
		1月	物産展(秋葉原)での地場商品PR		
		1月以降	城下町・小田原ブランド戦略フォーラムの開催(予定)		
		2月		おだわらスイーツプレミアム等販売促進・新店舗発表イベント	
商店街活性化推進(持続可能な商店街づくり補助など)	徒歩生活圏内の地域住民の生活を安定して支え、地域に根付いた商店街づくりを推進するため、平成25年度には「持続可能な商店街づくり事業費補助金」を新設し、商店街組織等実施する中長期的な取り組み等に対する支援を行う。	随時	・補助制度の見直し等を踏まえた、補助対象事業の実施に向けた商店街団体との調整・協議		産業政策課
		6月～7月	・商店街ヒアリング(取り組み状況の確認等)		
		8月～9月	・要望調査 ・調査結果に基づく平成29年度補助事業の選定・確定		
まちづくり会社	公共性と事業性を併せ持った、「まちづくりのエンジン」となる、まちづくり会社を支援する。	4月～ (通年実施事業)	起業者・創業支援業務 観光回遊バス運行业務 「なりわい交流館」管理運營業務 地域経済循環型住宅リフォーム支援事業業務 ・小田原駅東口・西口第2自転車駐車場管理運営 ・その他収益事業の検討		産業政策課
		5月頃	社員全体会議開催		
		12月頃	中心市街地商店街実態調査業務(未定)		
地域経済循環型住宅リフォーム支援事業	住宅のリフォームを市内施工業者により実施した市民に対し、5万円相当の商品(地場産品、地元店で使用できる食事券等)をカタログギフト方式で進呈することにより、市民の消費を促し、地域内で循環するシステムを確立することで地域経済の活性化を図る。	4月～6月	市民・リフォーム業者等への周知 6/1号広報掲載		産業政策課
		7月	応募受付(7/1～7/15) 申し込み多数の場合は抽選を実施(7月下旬)		
		8月～3月	リフォーム工事の実施(支援対象者) カタログギフト申込み(支援対象者) 商品の発送		

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
小田原卸商業団地に関する課題の検討について	現在、鬼柳・桑原地区では市街化区域編入に向けて調整しているが、小田原卸商業団地区域内における地区計画の策定等について検討する。	4月～6月	地区計画の策定に向けての調整。公共下水道、道路等の本市への移管に向けての調整。	産業政策課
		6月～8月	公共下水道、道路の移管に関わる卸団地組合との費用負担等の調整。	
		10月	都市計画変更(市街化区域編入)の市原案申出	
若年者雇用支援事業	若年者の早期離職や雇用のミスマッチを防止するとともに、若年求職者と市内求人企業のマッチングを支援する機会として、従来から実施しているキャリア意識を形成するための3事業(ジョブスタディ、高校生ジョブツアー、ジョブシャドウ)に加え、安定雇用を創出する2事業(Uターン創出事業、雇用マッチング支援事業)を、雇用対策協定に基づく新たな取り組みとして実施する。	7月	ジョブシャドウ(7/26、事前学習は7/20) 高校生ジョブツアー(7/29)	産業政策課
		10月20日	Uターン促進事業(都内での合同就職面接会)	
		11月	第1回 雇用マッチング支援事業(バスツアー)	
		1月	第2回 雇用マッチング支援事業(バスツアー)	
		3月14日	ジョブスタディ～高校生と企業の交流会～	
鬼柳・桑原地区工業団地整備事業について	工業系保留区域(40.4ha)に位置付けている鬼柳・桑原地区において、市内開発業者が工業団地整備事業に取り組んでいることに対し、市として企業誘致支援を行っている。	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致(見本市への出展、新聞広告の掲載、ホームページでの周知等) ・開発業者との連携調整 ・立地希望企業との協議 ・庁内調整 ・県への働きかけ 	産業政策課
小田原地下街運営事業	地下街施設の管理運営を行うとともに、地域経済の振興と市内・街なかへの回遊を促進する拠点として、地域資源の情報発信や、誘客・集客の促進、販売促進プロモーションを実施する。	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・店長会(月1回) ・湘南SBとの定例会議(商業月2回、施設管理月1回) ・新聞折込チラシまたはタウン誌への出稿(テナント会)、広報への記事掲載(市) ・地域やテナントと連携したイベント・催事の実施 ・経済部地下街関連事業の調整・実施 	中心市街地振興課
		5月	<ul style="list-style-type: none"> ・5/13、第1回地下街運営評価委員会(平成27年度事業報告、決算見込み、評価意見諮問) ・5/31、テナント会理事会の開催 	
		6月	<ul style="list-style-type: none"> ・6/30、テナント会総会の開催 	
		7月	<ul style="list-style-type: none"> ・7/26、第2回地下街運営評価委員会(平成27年度決算・評価意見答申) 	
		8月	<ul style="list-style-type: none"> ・テナント会理事会の開催 	
		10月	<ul style="list-style-type: none"> ・運営戦略会議 	
		11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ハルネ小田原2周年(記念イベントを実施予定) 	
		12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回運営評価委員会(上半期事業報告、平成29年度予算の見通し) ・オーナー会の開催 	
		2月	<ul style="list-style-type: none"> ・テナント会理事会の開催 	

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
まち歩き観光の推進(ウォーキングタウン)	地域資源を生かしたウォーキングコースづくりに取り組み、市内外に広く紹介するとともに、小田原城周辺から旧東海道にかけての地区において、小田原ゆかりの人物の邸宅や邸園等を巡るまち歩きを促進するために設置した案内板の維持管理を行う。	通年	ウォーキングコースの維持管理、情報発信 各種ガイドツアー、駅からガイドの実施	観光課
		4~7月	春の観光キャンペーン「駅からはじまるスタンプラリー」(~5/8)を開催 ウォーキングコースの踏査 小田原さんぽ甘味摘みの実施	
		8~12月	「ウォーキングタウン小田原散策マップ(東部版)」を増刷 秋の観光キャンペーンを開催	
		1~3月	ウォーキングコース道標更新 春の観光キャンペーンを開催「駅からはじまるスタンプラリー」を開催	
まち歩き観光の推進(まち歩きアプリケーション)	急速に普及するモバイル端末を活用し、「現在地」や「観光スポット」、「食」、「おすすめコース」など、まち歩きに使える情報をリアルタイムに受け取れる「まち歩きアプリケーション」を導入する。	4~6月	まち歩きアプリケーション検討会議の設置 業者選定(プロポーザル方式を検討)	観光課
		7~11月	仕様策定(まち歩きアプリケーション検討会議による検討) ・デザイン、機能、掲載情報 ・データ入力	
		12~1月	システム確認 アップル及びアンドロイドへの申請	
		2月	システム公開	
観光戦略ビジョン(観光推進体制の強化)	多様化する観光客のニーズに対応するため、小田原市観光協会の機能強化を図り、新たにマーケティングやプロモーションに長けた人材を配置し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、観光プラットフォーム(地域DMO)を設置する。	4~6月	業者選定(地域DMO設立支援業務) 観光まちづくり推進懇話会による検討(先進地事例研究・視察含む)	観光課
		7~9月	観光まちづくり推進懇話会により検討 観光協会との事前調整	
		10~12月	観光プラットフォーム(地域DMO)の検討結果の報告 DMOとしての事業計画(案)の作成 検討内容をもとにした関係者による協議・合意 観光プラットフォーム(地域DMO)関連予算の計上	
		1~3月	観光プラットフォーム(地域DMO)設置準備	

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
北条五代観光PR	北条氏の事績や魅力を情報発信するとともに、北条五代観光推進協議会を中心にNHK大河ドラマ化等に向けてPR事業等を行う。	4～5月	4/15～27 戦国武将ウィークin東京ソラマチ「Go!北条」の実施 4月中旬 天守閣夜間開館延長ポスターの首都圏鉄道各駅への掲出 4月下旬 「(仮称)北条五代物語」執筆依頼(伊東潤氏を想定) 5/3 北條五代祭り、北条五代観光推進協議会総会、パレードに参加 5/3・4 小田原城名物市(五代協加盟各団体が出店) 5月中旬 西さがみ観光キャンペーン(上野駅) 5月下旬 北条五代観光推進協議会幹事会	観光課
		6～12月	6月中 北条五代観光推進協議会総会(書面協議) 8/27・28 忍者の里・風魔まつり 10/16 一夜城まつり 10月下旬 北条五代観光推進協議会幹事会 適宜 「(仮称)北条物語」執筆者との調整	
		12～3月	12月中旬 西さがみ観光キャンペーン(大宮駅) 3月 「(仮称)北条五代物語」のPR	
歴史的風致維持向上計画推進	「歴史的風致維持向上計画」に基づき、城址公園及び周辺の環境整備のため散策路等の整備を進める。	4月～7月	平成29年度概算要望に向けた関係機関及び庁内関係各課との調整	観光課
		9月～12月	平成29年度予算要求	
		4月～3月	地権者、関係機関及び庁内関係各課との調整	
城址公園の管理事務所設置に向けた検討(文化部と共同)	小田原城址公園は、公園内の諸施設の移転が進む一方、銅門周辺の史跡整備が進むなど、城址公園の様相が変化してきている。また、植栽についても市民や観光客の関心が高く、質の高い管理が求められるようになってきている。こうした状況により適切に対応していける管理事務所の設置に向け総合管理体制の検討を行う。	4月～6月	4部長会議の開催。(1回)	観光課/ 文化財課
		7月～9月	・4部長会議の開催。アドバイザーによる指導。(2回) ・小田原市総合計画(おだわらTRYプラン)後期基本計画、実施計画の作成	
		10月～12月	・4部長会議の開催。アドバイザーによる指導。(2回) ・総合管理体制の方向性を理事者報告 ・総合管理体制関連予算要求 ・総合管理体制案のとりまとめ ・庁内関連部署との調整	
		1月～3月	機構改革に関する調整	
県西営農支援センター	農業者の高齢化や後継者不足、鳥獣被害の増加など、営農を取り巻く環境が厳しさを増している状況を踏まえ、これらの課題に広域的に対応していくため、県西地域の2市7町とJAかながわ西湘が連携し設置した県西営農支援センターの運営を行う。	5月	協議会総会開催	農政課
		7月	運営委員会開催	
		通年	ホームページによる情報発信 相談窓口の開設 新規就農受入基準の統一に向けた調整	

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
<p>地域産木材利用拡大事業 (いこいの森バンガロー、住宅リフォーム助成事業、木育など)</p>	<p>地域産木材利用拡大を図るため、各種事業の展開を図る。 地域産木材利用の拡大 公共施設の木質化(いこいの森バンガロー整備、各種公共施設木質化支援) 木のいえづくり 小田原産木材住宅リフォーム等助成事業の拡充 木育 おだわらウッドスタート事業、私の木づくりパイロット事業、小学生への木育等 今後の木材利用拡大に向けた方向性の検討 木材流通実態調査</p>	4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・いこいの森バンガロー整備(3棟)プロポーザル参加資格申請期限(～5/20)、同提案書提出期限(～6/30) ・ウッドスタート事業誕生祝い品配布開始(4月～) ・木材流通実態調査の契約締結、及び調査実施(4月～12月) ・小田原駅等木質化事業:内装木質化検討(～3月)及び伊豆クレイルに係る待合室什器整備(～6月) ・机天板等導入に向けた小学校との具体にかかる調整(～5月) ・小田原産木材住宅リフォーム等助成事業(第一期公募)(6月頃をメドに実施) ・おだわら木の広場(HaRuNe小田原)の開催(6月～3月) 	農政課
		7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・いこいの森バンガロー整備(3棟)プロポーザル審査会、次年度以降の整備の方向性検討(～10月) ・きまつり～森と木に包まれる夏～開催 ・小田原産木材住宅リフォーム等助成事業(第二期公募) ・机天板等導入の実施(～3月) ・おだわら木の広場(HaRuNe小田原)の開催 	
		10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校、保育園等対象木育授業(～3月) ・おだわら木の広場(HaRuNe小田原)の開催 ・バンガロー建築工事着手(10月～) 	
		1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原駅等木質化完成 ・いこいの森バンガロー3棟完成 	
<p>小田原農作物ブランド向上事業 (6次産業化ネットワーク活動交付金ほか)</p>	<p>農産物を加工し販売すること(6次産業化)で、農業者の収益向上と農産物の有効活用を図るため、拠点施設の整備をはじめとし、その取り組みについて検討を行う。さらに、本市で「かながわブランド」の指定を受けている梅、たまねぎや湘南ゴールドのブランド向上を中心に、小田原産農産物の消費拡大を目指し事業を展開する。</p>	4月～	<p>農産物加工品づくりに向けた連携と検討(JA・メーカー・市・小田原総合ビジネス高校) 6次産業化推進のための戦略策定</p>	農政課
		5月～	<p>郵便局カタログ商品にて下中たまねぎの取り扱いを実施(継続)</p>	
		5月	<p>HuRuNe小田原にて小田原たまねぎのPRイベントの実施</p>	
		6月	<p>十郎梅の収穫・漬け込み体験ツアーの支援 横浜におけるたまねぎ・梅の即売会、朝ドレファ～ミにおける梅の即売会</p>	
		1月	<p>「ちゃばら」での農産物PR活動</p>	
		2月～3月	<p>湘南ゴールドツアーの支援(継続・実施主体は湘南ゴールド振興協議会)</p>	
<p>耕作放棄地解消(シニア人材の活用含む)</p>	<p>農業者等が行う耕作放棄地の再生を支援することにより、地域内の耕作放棄地の解消と農地の流動化を促進し、農地の持つ多面的な機能を発揮させる。</p>	4月～	<p>「耕作放棄地解消事業費補助金」の申請受付</p>	農政課
		8月	<p>農業委員会の「農地法施行状況調査(利用状況調査)」と併せての現地調査を実施</p>	
		3月	<p>新規就農者就学支援事業費補助金の交付 定年帰農者農業支援奨励金の交付</p>	
		随時	<p>補助金制度と利用権設定の制度周知</p>	

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
オリーブ栽培の事業化	6次産業化による所得の確保、耕作放棄地対策、有害鳥獣対策は喫緊の課題であることから、オリーブの栽培に取組み新しいブランドとして確立を目指す。	5月	小田原オリーブ研究会総会	農政課
		4月～3月	オーナー制度の研究 栽培状況の確認	
		8月～	苗木補助事業の説明会、募集	
		4月～3月	栽培研修(防除、選定等)等の実施	
		随時	オリーブオイル講習会等の実施	
計画的な農業用施設の維持管理及び整備促進	農業用施設(農道・農業用水利施設等)等の個別施設計画の策定及び保全対策事業の推進、農業用施設基盤整備要望への対応を進める。	4月～3月	平成29年度国庫補助事業概算要望(～6月) 本要望(～9月) 未調査の橋りょう2橋の現況調査 県及び国に対する要望活動	農政課
小田原漁港特定漁港漁場整備事業(交流促進施設等)	地場水産業の振興と地域の活性化を図るため、神奈川県が進めている、小田原漁港特定漁港漁場整備事業により造成された用地の一面に、水産物(鮮魚、加工品等)売場、地場産特産品等売場、飲食ブース、情報発信コーナーなどを備えた、都市住民との交流を促進するための施設を整備する。	7月～	施設整備実施設計業務を発注	水産海浜課
		7月～	下水道施設整備工事発注	
		2月中旬	3月定例会に指定管理者制度導入のため施設設置管理条例を議会に上程	
		年2回程度	小田原漁港整備推進協議会及び専門部会合同会議の開催	
		年3回程度	交流促進施設検討会(小田原市漁業協同組合、(株)小田原魚市場、小田原箱根商工会議所、県西地域県政総合センター農政部地域農政推進課、県西部漁港事務所、小田原市)	
		年3回程度	(仮称)フィッシングパーク検討会を立ち上げ、ハード整備及び管理運営体制等について検討を実施(小田原市漁業協同組合、県西部漁港事務所、日本釣振興会等関係団体、小田原市)	

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
小田原の魚ブランド化・消費拡大	地域の重要資源である「小田原の魚」をもっと「知って」、「買って」、「食べて」もらうために、関係団体や事業者などとともに「小田原の魚」の良さと水産加工品をはじめとする城下町の高度なものづくりの技術を活かし、様々な食シーン・ニーズに対応した「人づくり」、「物づくり」、「魚食への流れづくり」を総合的に展開する。	通年	<p>簡単・手軽な地魚料理教室の拡大実施(協議会主催6回・魚食普及団体主催10回以上)、学校給食のメニュー化の実施校拡大(10校程度)</p> <p>「FMおだわら」と協力して、市民公募(5名程度)した「おさかな応援隊」による魚市場の見学会や小田原の地魚愛用店の紹介など、生活に根ざしたニーズの掘り起こしと幅広い協働の取り組みを実施</p> <p>地魚愛用店(57店舗)の拡大及び更新手続きと小田原の魚の価値を伝える「小田原魚伝道師(3名)」の育成</p> <p>漁師が選ぶ「四季の代表魚(8魚種)」の宣伝、周知(地魚愛用店を活用予定)</p> <p>小田原地魚加工品ブランド「小田原城前魚」(7企業30商品)の販売促進、商品登録拡大 加工用素材「北条一本ぬきカマス(通称:かます棒)」及び器具「北条一本抜き器」の販売促進、小田原新名物化への展開</p> <p>HP、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を通じた情報発信</p>	水産海浜課
水産市場のハード整備に向けた検討	老朽化している小田原市公設水産地方卸売市場について、今後の施設のあり方を検討し、方向性及び対策スケジュール等を決定していく。	7月～	水産市場施設再整備等検討業務を業者に委託し、水産市場の取扱量の動向等を見据えた将来推計、再整備方法等の検討を実施	水産海浜課
		年数回	市場関係者、漁業関係者等との打合せを開催し、再整備の方向性等の検討を実施	
		年1、2回	衛生管理に関する会合や講習会を開催し、常日頃からの衛生管理の徹底やHACCPに関する知見の周知を図る	
小田原漁港特定漁港漁場整備事業 (荷捌き施設及び加工施設;市漁協事業)	小田原市漁業協同組合は、地場水産業の振興と地域の活性化を図るため、神奈川県が進めている、小田原漁港特定漁港漁場整備事業により造成された用地の一画に、漁獲物荷捌き施設及び水産物加工処理施設を整備し、水揚拡大、漁業所得向上を目指す。	4月頃～	ソフト事業(新たなマーケットの開拓のための取組、実践的知識・技術の取得のための取組)の継続・・・4つの部会を設置(定置網漁の水揚げ拡大と販路構築部会、サザエ等の蓄養試験部会、一次加工、干物の試作と販路構築部会、一本釣り漁の水揚げ拡大と販路構築部会)	水産海浜課
		6月～7月	建築確認申請・審査	
		8月～3月	漁獲物荷捌き施設整備工事着手(平成29年3月完了予定)	
		年4回程度	産地協議会開催	